

第166回 免疫系発生学セミナー

村田 茂穂 博士

東京大学 大学院薬学系研究科 教授

ユビキチン・ プロテアソーム系による タンパク質恒常性維持機構

2016年1月20日 水曜日

17:00 - 18:30

疾患プロテオゲノム研究センター
1F交流ホール

細胞内の主要なタンパク質分解装置であるプロテアソームによる細胞機能制御機構の解明をメインテーマに、細胞生物学、生化学、マウス発生工学、酵母遺伝学、ショウジョウバエ遺伝学など幅広い手法を用いて研究を推進しておられる村田博士は、胸腺プロテアソームに関する共同研究者でもあります。この度、来学の機会を得、セミナーを開催いたします。多数のご参加をお待ちしています。大学院特別講義を兼ねます。

Mol Cell Biol. 2015
Sci Rep. 2015
Mol Cell Biol. 2015

PLoS Genet. 2015
Nat Commun. 2015
J Biol Chem. 2014

問合せ先: 疾患プロテオゲノム研究センター生命システム形成分野/大学院医科学教育部免疫系発生学
高濱 (x9452, takahama@genome.tokushima-u.ac.jp)

徳島大学基因組研究中心遺傳子実験施設第壹百六拾六回特別講演會